

平成30年度東北弁護士会連合会定期弁護士大会シンポジウム

東北地方における成年後見制度 利用促進のための課題と対策 ～青森県内全域を対象とする成年後見制度利用に 関する実態調査から見てきたもの～

青森県弁護士会は、全国でも3例目、東北では初めて、成年後見制度利用の需要と受け皿の実態に関する、県内全域を対象とする大規模調査を実施しました。

本シンポジウムでは、全国でも希少な大規模調査の結果を初めて公開します。

そして、成年後見制度の利用促進の問題に詳しい2名のパネリストを迎え、今回の調査結果をどう読み取るか、法律・福祉に関わる人々が成年後見制度の問題にどのように立ち向かうべきか、時間の限り議論を深めていきます。

日時

2018年7月6日(金) 10:00 - 12:00 開場時間 9:30～

会場

八戸グランドホテル 2階グランドホール

青森県八戸市番町14 電話0178-46-1234

車でお越しの方は、近隣の有料駐車場のご利用をお願いします。

定員

一般の方 **100** 名様 参加費無料・事前申込制・先着順
会場では要約筆記・手話通訳による情報支援を提供予定です。

1部	10:00 - 10:20	ご挨拶 登壇者紹介 アンケート趣旨・手法の説明
2部	10:20 - 10:50	アンケート報告(前半) ディスカッション① 成年後見制度の利用状況 要支援者の需要数・属性 申立促進に関する課題
3部	10:50 - 11:20	アンケート報告(後半) ディスカッション② 成年後見制度の既存の受け皿 市民後見人の養成・活用 法人後見の推進 受け皿拡大に関する課題
4部	11:20 - 11:50	ディスカッション③ 多職種によるネットワーク構築 広域連携 中核機関の設立運営

お問合せ・お申込み

青森県弁護士会 事務局

電話 017-777-7285

FAX 017-722-3181

※一般の方のお問合せ・申込専用
※東北六県の弁護士会会員は、
弁連大会申込書によりお申込み
ください。

※申込期間

6月15日～6月30日(必着)

登壇者のご紹介

【パネリスト】 青森県立保健大学 准教授 石田 賢哉 氏

青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科の准教授であり、社会福祉士・精神保健福祉士の資格も有する。平成23年度に青森市を対象として実施された成年後見制度需要に関する先駆的な実態調査では集計分析に携わるなど、当地における成年後見制度利用促進に関して深い知見を有している。この度青森県内全域を対象として実施したアンケートについても、学識経験者としてその知見に基づく分析検討を行う。本シンポジウムではアンケートの分析検討結果を踏まえて当地における課題とその対策を明らかにすることが期待される。

【パネリスト】 埼玉弁護士会所属 弁護士 水島 俊彦 氏

平成29年度から日本弁護士連合会高齢者障害者権利支援センター成年後見・意思決定支援部会(3部会)部会長を務める。平成30年2月まで2年間にわたり法テラス八戸法律事務所に勤務し、在任中は青森県弁護士会高齢者・障がい者の権利に関する委員会委員、八戸市市民後見推進協議会委員を務めたほか、八戸圏域連携中枢都市圏を構成する市町村の高齢・障害部署の職員有志により結成される八戸圏域成年後見プロジェクトチームの座長も務め、同PTが平成29年に実施した八戸圏域の成年後見制度に関する実態把握調査を主導するなど、当地における成年後見制度利用に関する実情に詳しい。本シンポジウムでは日弁連における最新の議論や当地での実務経験を踏まえ、当地における課題とその対策を明らかにすることが期待される。

【報告者】 青森県弁護士会所属 弁護士 舟城 善貴 青森県弁護士会所属 弁護士 保土澤 史教

平成30年度東北弁連大会シンポジウム実行委員

【コーディネータ】 青森県弁護士会所属 弁護士 下川原 利也

平成30年度東北弁連大会シンポジウム実行委員長
青森県弁護士会高齢者・障がい者の権利に関する委員会委員
八戸圏域成年後見プロジェクトチーム

平成30年度東北弁護士会連合会定期大会シンポジウム

「東北地方における成年後見制度
利用促進のための課題と対策」

参加申込書

お名前	(フリガナ)
ご所属	
ご住所	
ご連絡先	

お名前	(フリガナ)
ご所属	
ご住所	
ご連絡先	

お名前	(フリガナ)
ご所属	
ご住所	
ご連絡先	

※本シンポジウムへの参加申込みにあたって提供された個人情報は、本シンポジウム限りで使用させていただきます、他団体等へは提供しません。

申込先: 青森県弁護士会 事務局
FAX 017-722-3181